

# 校訓《清新（せいしん） 好学（こうがく） 躍進（やくしん）》

錦ヶ丘中 学校便り8号 平成30年1月10日 錦ヶ丘中学校長 増村隆夫

昨年は、終業式で「人間万事塞翁が馬（人の世は、幸福や不幸は予想のしようのない事）、失敗をしても、それが不幸なことと思えるかもしれないが、考え方では幸せな結果を生み出すことにもなる。気持ちの持ちようで、ストレスをためないで、切りかえましょう」という話をしました。



今年は、犬年です。犬は、とても嗅覚（きゅうかく）、匂いをかぎ分ける能力が優れています。犬の嗅覚は、人間の100万倍以上だと言われています。ニオイで獲物を追跡、狩りをする獣猟犬（ハウンド）「嗅覚ハウンド」の代表格の多くは長いたれ耳を持っています。

音をさえぎり、匂いに集中しやすい状況を作っているとも言われます。犬たちは、人間では到底かなわない能力の持ち主でもあるのです。皆さんにも、一人ひとりに何か優れた能力があるはず。出会うまでは、貯金と思って勉強を頑張りましょう。

三学期の始業式の話は、「鳥の目」「虫の目」「魚の目」の3つの目についての話をしました。この3つの目で物事に取り組むと、「ドクターX」のように、“私、失敗しないので”と言えるようになるでしょう。

**発想力を高め、失敗をせず成功につなげる鍵として、3つの目を持ちましょう。**



1 「鳥の目」：高いところから全体を見る目

勉強でも仕事でも、いきなり細かいところから着手するのは、賢い方法ではありません。鳥になり、高い位置から下を見て、全体像を把握することから始めます。難しく思えることも、全体の大まかな成り立ちや仕組みが分かると、いくぶん取り組みやすくなります。



2 「虫の目」：近いところから多角的に注意深く見る目

虫は、小さい生き物です。地に面した低い位置にいるからこそ、上からは見えなかったことが見えてくるようになります。五感を働かしながら直面する問題を解決していくのです。



3 「魚の目」：水の流れるように時流を見る目

魚は、目には見えない川の流れを体全体で感じ取っています。流れを感じ取り、察知し、長期的視野で物事を見る。時間的・空間的により広く決断できる。どの方向へ流れていくのかを読み取ります。

勉強にも仕事にも流れがあります。

例えば、数学で図形の角度を求める問題があります。

いきなり、虫の目で解き始めるのではなく、鳥の目で見ると、円があれば、円周角。

三角形があれば、内角・外角。相似な図形・二等辺三角形・正三角形の性質。次に、虫の目で見て、図に分かっていることを書き込む。最後は、魚の目で、流れをつかみ、どうやって答えにたどりつくかです。この見方で取り組みれば、だんだんと短い時間で解決できるはず。

この3つの目を持っている人は、勉強や部活でも失敗しません。

## 2018年 新たな行動目標

「置かれた環境を言い訳にしない、たくましい錦ヶ丘中の生徒！」

全学年の生徒に、「気づき 考え 行動する生徒！」に続き、2018年に向け、新たに、「置かれた環境を言い訳にしない、たくましい錦ヶ丘中の生徒！」

この言葉を行動するとき、思い浮かべて欲しいと思います。

勉強、部活をする上で、この言葉を常に意識して前を向き、行動することが大切です。